

特集

令和3年 静岡県的人口動態統計(概数)の概況

静岡県の合計特殊出生率1.36 全国は1.30

健康福祉部企画政策課

はじめに

このほど、厚生労働省が令和3年人口動態統計月報年計(概数)の概況を公表しました。これをもとに静岡県の概況をとりまとめました。

この調査は毎年1月1日から12月31日までの1年間における人口の動きに関する調査で、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としており、人口動向と保健衛生の動向を把握する統計です。

概要

1 出生率は減少

出生数は21,571人で、前年より926人減少し、出生率(人口千対)は6.1で、前年の6.4を下回った。

また、合計特殊出生率は1.36で前年の1.39を下回った。

2 死亡率は増加

死亡数は43,195人で、前年より1,004人増加し、死亡率(人口千対)は12.3で、前年の11.9を上回った。

死因順位は、第1位が悪性新生物<腫瘍>(死亡数10,921人、死亡率(人口10万対)310.7)、第2位が老衰(6,462人、183.8)、第3位が心疾患(6,086人、173.1)となっている。

3 自然増加数は減少

出生と死亡の差である自然増加数は△21,624人で減少幅は前年より1,930人増加し、自然増加率(人口千対)は△6.2で、前年の△5.6を下回った。

4 乳児死亡数、新生児死亡数は増加

乳児死亡数は53人で、前年より7人増加し、乳児死亡率(出生千対)は2.5で、前年の2.0を上回った。

また、新生児死亡数は27人で、前年より5人増加し、新生児死亡率(出生千対)は1.3で、前年の1.0を上回った。

5 死産数は増加

死産数は408胎で、前年より15胎増加し、死産率(出産(出生+死産)千対)は18.6で、前年の17.2を上回った。

6 婚姻件数は減少

婚姻件数は13,341組で、前年より505組減少し、婚姻率(人口千対)は3.8で、前年の3.9を下回った。

7 離婚件数は減少

離婚件数は5,162組で、前年より312組減少し、離婚率(人口千対)は1.47で、前年の1.55を下回った。

表1 人口動態総覧、対前年比較

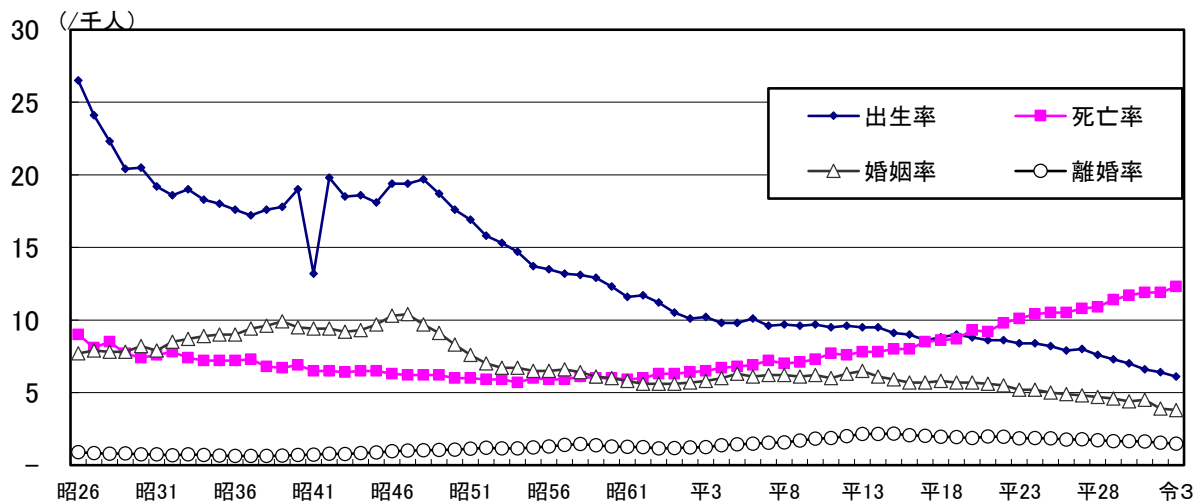
区 分	実 数		率		平均発生間隔
	令和3年(概数)	令和2年	令和3年(概数)	令和2年	令和3年(概数)
出生	21,571	22,497	6.1	6.4	24分22秒
死亡	43,195	42,191	12.3	11.9	12分10秒
乳児死亡	53	46	2.5	2.0	165時間16分59秒
新生児死亡	27	22	1.3	1.0	324時間26分40秒
自然増加	△ 21,624	△ 19,694	△ 6.2	△ 5.6	...
死産	408	393	18.6	17.2	21時間28分14秒
自然死産	222	194	10.1	8.5	39時間27分34秒
人工死産	186	199	8.5	8.7	47時間5分48秒
周産期死亡	86	79	4.0	3.5	101時間51分38秒
妊娠満22週以後の死産	68	61	3.1	2.7	128時間49分25秒
早期新生児死亡	18	18	0.8	0.8	486時間40分0秒
婚姻	13,341	13,846	3.8	3.9	39分24秒
離婚	5,162	5,474	1.47	1.55	1時間41分49秒
合計特殊出生率			1.36	1.39	

(注) 1 出生率・死亡率・自然増加率・婚姻率・離婚率は人口千対、乳児死亡率・新生児死亡率・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。
 2 諸率の算出に用いた人口は、総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課の推計による令和3年10月1日現在の日本人人口(静岡県3,515,000人)である。

表2 人口動態(実数・率)の年次推移

	出生		死亡		乳児死亡		新生児死亡		死産		婚姻		離婚	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和40年	55,328	19.0	19,966	6.9	866	15.7	482	8.7	4,431	74.1	27,788	9.5	2,064	0.71
50	58,276	17.6	19,788	6.0	542	9.3	349	6.0	2,709	44.4	27,541	8.3	3,536	1.07
60	43,932	12.3	21,415	6.0	236	5.4	143	3.3	1,819	39.8	21,501	6.0	4,572	1.28
平成7	35,345	9.6	26,666	7.2	164	4.6	75	2.1	1,086	29.8	22,991	6.2	5,723	1.55
12	35,794	9.6	28,323	7.6	96	2.7	52	1.5	1,088	29.5	23,550	6.3	7,380	1.99
17	31,908	8.6	31,747	8.5	99	3.1	56	1.8	816	24.9	21,056	5.7	7,474	2.01
22	31,896	8.6	36,420	9.8	68	2.1	34	1.1	716	22.0	20,323	5.5	7,241	1.96
27	28,352	7.8	39,518	10.9	53	1.9	25	0.9	539	18.7	17,666	4.9	6,504	1.79
30	25,192	7.0	41,972	11.7	50	2.0	30	1.2	470	18.3	15,768	4.4	5,923	1.65
令和元	23,457	6.6	42,190	11.9	55	2.3	33	1.4	490	20.5	15,848	4.5	5,834	1.64
2	22,497	6.4	42,191	11.9	46	2.0	22	1.0	393	17.2	13,846	3.9	5,474	1.55
3(概数)	21,571	6.1	43,195	12.3	53	2.5	27	1.3	408	18.6	13,341	3.8	5,162	1.47

図1 人口動態(率)の年次推移



1 出生

(1) 出生数・出生率

令和3年の出生数は21,571人で、前年の22,497人より926人減少し、人口動態統計が整備されて以降、最も少ない水準を更新している。

昭和46～49年の第2次ベビーブーム期には、毎年6万人を超える出生があったが、昭和50年以降はほぼ毎年減少を続け、昭和55年に5万人を、平成元年に4万人を、平成26年は3万人を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、30～34歳が最も多く、次いで25～29歳、35～39歳の順となっている。39歳以下の各階級では前年より減少したが、40歳以上の出生数は増加した。

出生率（人口千対）は6.1で、前年の6.4を下回った。

表3 出生数の年次推移、母の年齢(5歳階級)別

(単位：人、%)

	出生数				対前年増減		割合	
	令和3年	令和2年	令和元年	21年	3年-2年	2年-元年	令和3年	21年
総数	21,571	22,497	23,457	31,901	△ 926	△ 960	100.0	100.0
～19歳	130	196	226	452	△ 66	△ 30	0.6	1.4
20～24	1,634	1,798	1,947	3,667	△ 164	△ 149	7.6	11.5
25～29	5,906	6,186	6,269	9,572	△ 280	△ 83	27.4	30.0
30～34	7,867	8,241	8,659	11,530	△ 374	△ 418	36.5	36.1
35～39	4,802	4,893	5,116	5,889	△ 91	△ 223	22.3	18.5
40歳以上	1,232	1,183	1,240	791	49	△ 57	5.7	2.5

(注) 総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 合計特殊出生率

令和3年の合計特殊出生率は1.36で、前年の1.39から0.03下降した。

合計特殊出生率は、昭和55年に2.00、平成7年に1.50を下回り、低下傾向が続いていた。

平成15年以降は総じて上昇傾向で推移し、平成24年以降1.5台で概ね横ばいであったが、

令和2年から2年続けて1.3台となっている。

表4 合計特殊出生率の年次推移

	昭和35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	17年
静岡県	2.11	2.21	2.12	2.02	1.80	1.85	1.60	1.48	1.47	1.39
全国	2.00	2.14	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26
23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年
1.49	1.52	1.53	1.50	1.54	1.55	1.52	1.50	1.44	1.39	1.36
1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30

2 死亡

(1) 死亡数・死亡率

令和3年の死亡数は43,195人で、前年の42,191人より1,004人増加した。

死亡数は、昭和30年代以降は2万人前後で推移していたが、昭和50年代の終わりごろから徐々に増加し、平成17年は3万人を、平成29年は4万人を超えた。

令和3年の死亡率（人口千対）は12.3で、前年の11.9を上回った。

表5 死亡数及び死亡率(人口千対)の年次推移

	静岡県		全国			静岡県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率		死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭和30年	19,741	7.4	693,523	7.8	17	31,747	8.5	1,083,796	8.6
40	19,966	6.9	700,438	7.1	18	32,001	8.6	1,084,450	8.6
45	20,302	6.5	712,962	6.9	19	32,507	8.7	1,108,280	8.8
50	19,788	6.0	702,275	6.3	20	34,511	9.3	1,142,407	9.1
55	20,550	6.0	722,801	6.2	21	34,209	9.2	1,141,865	9.1
60	21,415	6.0	752,283	6.3	22	36,420	9.8	1,197,012	9.5
平成元年	22,769	6.3	788,594	6.4	23	37,303	10.1	1,253,066	9.9
2	23,543	6.4	820,305	6.7	24	38,194	10.4	1,256,359	10.0
7	26,666	7.2	922,139	7.4	25	38,393	10.5	1,268,436	10.1
8	26,089	7.0	896,211	7.2	26	38,342	10.5	1,273,004	10.1
9	26,343	7.1	913,402	7.3	27	39,518	10.9	1,290,444	10.3
10	27,178	7.3	936,484	7.5	28	39,294	10.8	1,307,748	10.5
11	28,753	7.7	982,020	7.8	29	41,078	11.4	1,340,397	10.8
12	28,323	7.6	961,653	7.7	30	41,972	11.7	1,362,482	11.0
13	28,914	7.8	970,313	7.7	令和元年	42,190	11.9	1,381,093	11.2
14	28,894	7.8	982,379	7.8	2	42,191	11.9	1,372,755	11.1
15	29,813	8.0	1,014,951	8.0	3(概数)	43,195	12.3	1,439,809	11.7
16	29,809	8.0	1,028,602	8.2					

表6 年齢(5歳階級)別死亡数 (単位：人)

	死亡数		
	令和3年(概数)	令和2年	対前年増減
総数	43,195	42,191	1,004
0～4歳	65	57	8
5～9	6	15	△ 9
10～14	12	17	△ 5
15～19	32	31	1
20～24	60	65	△ 5
25～29	60	63	△ 3
30～34	79	87	△ 8
35～39	131	133	△ 2
40～44	189	218	△ 29
45～49	358	401	△ 43
50～54	597	536	61
55～59	759	768	△ 9
60～64	1,115	1,189	△ 74
65～69	2,008	2,195	△ 187
70～74	3,946	3,774	172
75～79	4,833	5,035	△ 202
80～84	6,898	6,685	213
85～89	8,761	8,518	243
90歳以上	13,286	12,404	882

(注) 総数には年齢不詳を含む。

(2) 死 因

令和3年の死亡数を死因別にみると、第1位は悪性新生物<腫瘍>で10,921人、死亡率(人口10万対)310.7、第2位は老衰で6,462人、死亡率183.8、第3位は心疾患で6,086人、死亡率173.1となった。

平成29年の死因分類の変更により、新たに誤嚥性肺炎が追加され死因の第6位となり、血管性及び詳細不明の認知症が上位10位以降から順位を上げ第9位になった。

表7 死因別死亡数・死亡率・死因順位

死 因	静岡県						全 国			
	令和3年(概数)			令和2年			令和3年(概数)		令和2年	
	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割合 (%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割合 (%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数	死亡率 (人口10万対)
全 死 因	43,195	1,228.9	100.0	42,191	1,194.2	100.0	1,439,809	1,172.7	1,372,755	1,112.5
悪性新生物※	(1) 10,921	310.7	25.3	(1) 10,960	310.2	26.0	(1) 381,497	310.7	(1) 378,385	306.6
老 衰	(2) 6,462	183.8	15.0	(3) 5,782	163.7	13.7	(3) 152,024	123.8	(3) 132,440	107.3
心 疾 患	(3) 6,086	173.1	14.1	(2) 5,876	166.3	13.9	(2) 214,623	174.8	(2) 205,596	166.6
脳血管疾患	(4) 3,605	102.6	8.3	(4) 3,679	104.1	8.7	(4) 104,588	85.2	(4) 102,978	83.5
肺 炎	(5) 1,848	52.6	4.3	(5) 1,992	56.4	4.7	(5) 73,190	59.6	(5) 78,450	63.6
誤嚥性肺炎	(6) 1,444	41.1	3.3	(6) 1,258	35.6	3.0	(6) 49,489	40.3	(6) 42,746	34.6
不慮の事故	(7) 1,207	34.3	2.8	(7) 1,214	34.4	2.9	(7) 38,296	31.2	(7) 38,133	30.9
腎 不 全	(8) 866	24.6	2.0	(8) 818	23.2	1.9	(8) 28,686	23.4	(8) 26,948	21.8
認 知 症※	(9) 698	19.9	1.6	(9) 670	19.0	1.6	(10) 22,343	18.2	(10) 20,815	16.9
間質性肺疾患	(10) 641	18.2	1.5	(11) 622	17.6	1.5	(11) 20,776	16.9	(12) 19,220	15.6

(注) 死亡数欄の()内の数字は死因順位を示す。

※ 悪性新生物…悪性新生物<腫瘍>、認知症…血管性及び詳細不明の認知症

表8 主な死因の順位、男女別

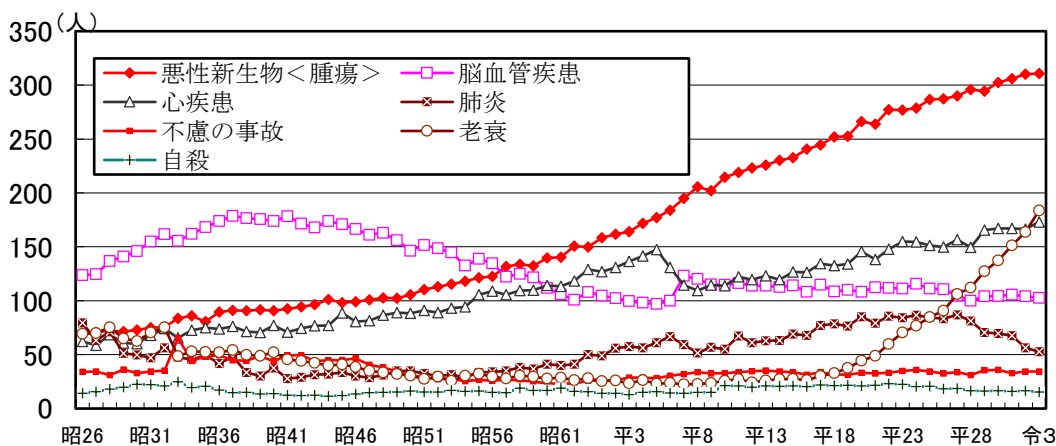
(単位:人)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男	死 因 悪性新生物<腫瘍>	心疾患	老 衰	脳血管疾患	肺 炎
	死亡数 6,477	2,966	1,972	1,809	1,057
	死亡率 373.7	171.1	113.8	104.4	61.0
女	死 因 老 衰	悪性新生物<腫瘍>	心疾患	脳血管疾患	肺 炎
	死亡数 4,490	4,444	3,120	1,796	791
	死亡率 252.0	249.4	175.1	100.8	44.4

	第 6 位	第 7 位	第 8 位	第 9 位	第 10 位
男	死 因 誤嚥性肺炎	不慮の事故	腎不全	間質性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患
	死亡数 932	671	480	419	413
	死亡率 53.8	38.7	27.7	24.2	23.8
女	死 因 不慮の事故	誤嚥性肺炎	血管性及び詳細不明の認知症	腎不全	アルツハイマー病
	死亡数 536	512	459	386	367
	死亡率 30.1	28.7	25.8	21.7	20.6

(注) 死亡率は人口10万対 平成29年から「誤嚥性肺炎」の分類が追加された

図2 主な死因別の死亡率の年次推移(10万人当たり死亡数)



(注)「肺炎」は平成6年まで「肺炎及び気管支炎」である。

3 婚姻・離婚

(1) 婚姻

令和3年の婚姻件数は13,341組で、前年の13,846組より505組減少し、婚姻率（人口千対）は3.8で、前年の3.9を下回った。

婚姻件数は昭和40年代後半には3万組を超え、婚姻率も10.0前後を記録した。

その後は、件数・率とも減少が続いたが、昭和63年以降は増加に転じ平成4年以降平成14年まで婚姻率は6.0以上であったが、減少の傾向が続いていた。

平均初婚年齢は、夫30.8歳、妻29.2歳で、女性は前年より上昇した。

(2) 離婚

令和3年の離婚件数は5,162組で、前年の5,474組より312組減少し、離婚率（人口千対）は1.47で、前年の1.55を下回った。

表9 婚姻及び離婚の年次推移

	婚姻				離婚			
	静岡県		全国		静岡県		全国	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
昭和45年	30,036	9.7	1,029,405	10.0	2,701	0.87	95,937	0.93
50	27,541	8.3	941,628	8.5	3,536	1.07	119,135	1.07
55	22,460	6.5	774,702	6.7	4,202	1.22	141,689	1.22
60	21,501	6.0	735,850	6.1	4,572	1.28	166,640	1.39
平成2年	20,700	5.7	722,138	5.9	4,432	1.21	157,608	1.28
7	22,991	6.2	791,888	6.4	5,723	1.55	199,016	1.60
12	23,550	6.3	798,138	6.4	7,380	1.99	264,246	2.10
17	21,056	5.7	714,265	5.7	7,474	2.01	261,917	2.08
22	20,323	5.5	700,214	5.5	7,241	1.96	251,378	1.99
25	18,463	5.0	660,613	5.3	6,732	1.84	231,383	1.84
26	18,066	4.9	643,749	5.0	6,439	1.76	222,107	1.77
27	17,666	4.9	635,156	5.1	6,504	1.79	226,215	1.81
28	17,079	4.7	620,531	5.0	6,237	1.72	216,798	1.73
29	16,573	4.6	606,866	4.9	5,983	1.66	212,262	1.70
30	15,768	4.4	586,438	4.7	5,923	1.65	208,333	1.68
令和元年	15,848	4.5	599,007	4.8	5,834	1.64	208,496	1.69
2	13,846	3.9	525,507	4.3	5,474	1.55	193,253	1.57
3(概数)	13,341	3.8	501,116	4.1	5,162	1.47	184,386	1.50

(注) 婚姻率及び離婚率は人口千対

表10 平均初婚年齢の年次推移

	静岡県			全国		
	夫	妻	年齢差	夫	妻	年齢差
昭和45年	26.8	23.9	2.9	26.9	24.2	2.7
50	26.9	24.4	2.5	27.0	24.7	2.3
55	27.8	25.0	2.8	27.8	25.2	2.6
60	28.2	25.3	2.9	28.2	25.5	2.7
平成2年	28.4	25.7	2.7	28.4	25.9	2.5
7	28.6	26.2	2.4	28.5	26.3	2.2
12	28.7	26.8	1.9	28.8	27.0	1.8
17	29.8	27.8	2.0	29.8	28.0	1.8
22	30.4	28.5	1.9	30.5	28.8	1.7
25	30.8	29.0	1.8	30.9	29.3	1.6
26	31.0	29.1	1.9	31.1	29.4	1.7
27	31.0	29.2	1.8	31.1	29.4	1.7
28	31.1	29.2	1.9	31.1	29.4	1.7
29	31.1	29.1	2.0	31.1	29.4	1.7
30	31.0	29.1	1.9	31.1	29.4	1.7
令和元年	31.1	29.3	1.8	31.2	29.6	1.6
2	30.8	29.1	1.7	30.7	29.4	1.3
3(概数)	30.8	29.2	1.6	31.0	29.5	1.5